



まるくり

インフォメーション

人間ドック・健康診断施設



協会けんぽご加入の被保険者の方へ

溪仁会円山クリニック
経営管理部 顧客管理課 横溝 誠

溪仁会円山クリニックは、全国健康保険協会(以下、協会けんぽ)生活習慣病予防健診実施機関に認定されております。生活習慣病予防健診(一般健診)は協会けんぽより補助が受けられ、自己負担金も少なくご受診いただけますので、ぜひ当クリニックで健康診断をご受診ください。年に一回の健康診断ですので、より充実した検査をご希望の方には、**協会けんぽドック**をご用意しております。ぜひこちらもご利用ください。※40歳・50歳の方は、付加健診の受診対象となります。



対象者：一般健診(35歳から74歳の被保険者の方)を受診予定の方

全国健康保険協会 生活習慣病予防健診 検査項目一覧表

検査項目		一般健診	一般健診 アルファ	付加健診 (40・50歳)	協会けんぽ ドック	人間 ドック
問診・質問	既往歴・家族歴・服薬歴・自覚症状・他覚症状・生活習慣の調査	●	●	●	●	●
身体計測	身長、体重、肥満度、体脂肪率、BMI、腹囲測定	●	●	●	●	●
血圧測定	血圧測定	●	●	●	●	●
眼科系検査	視力	●	●	●	●	●
	眼底	—	—	—	●	●
眼科系検査	眼圧	—	—	—	●	●
	オーディオメーター(1000Hz・4000Hz)	●	●	●	●	●
尿検査	比重、PH、蛋白、糖、ウロビリノーゲン、ビリルビン、ケトン体、潜血	●	●	●	●	●
	沈渣	—	—	●	●	●
呼吸器系検査	胸部X線(直接撮影—正面)	●	●	●	●	●
	胸部X線(直接撮影—側面)	—	—	—	—	●
呼吸器系検査	肺機能	—	—	●	●	●
	胃部X線(直接撮影)、免疫学的便潜血(2日法)	●	●	●	●	●
超音波検査	腹部エコー(肝臓・胆嚢・腎臓・膵臓・脾臓・腹部大動脈)	—	—	●	●	●
循環器系検査	心電図(安静時12誘導)、心拍数	●	●	●	●	●
血液学検査	赤血球、白血球、血色素、ヘマトクリット、血小板、MCV、MCH、MCHC	●	●	●	●	●
	血液像	—	—	●	—	●
	血清鉄	—	—	—	—	●
血清学検査	CRP	—	—	—	●	●
	血液型(ABO式・RH式)	—	—	—	—	●
肝機能検査	AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、ALP	●	●	●	●	●
	血清蛋白、アルブミン、総ビリルビン、LDH	—	—	●	●	●
肝機能検査	A/G比、直接ビリルビン、コリンエステラーゼ	—	—	—	—	●
	HCV抗体	—	—	—	—	●
肝臓ウイルス検査	HBs抗体、HBs抗原(HBe抗原、HBe抗体)	—	—	—	—	●
	総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール	●	●	●	●	●
脂質検査	non-HDLコレステロール	—	—	—	●	●
	血糖	●	●	●	●	●
糖尿病検査	ヘモグロビンA1c	—	●	—	●	●
	尿酸	●	●	●	●	●
痛風検査	クレアチニン、eGFR	●	●	●	●	●
	尿素窒素	—	—	—	●	●
腎機能検査	Na、Cl、K、Ca	—	—	—	—	●
	血清アミラーゼ	—	●	●	●	●
膵機能検査	TSH	—	—	—	—	●
	甲状腺機能検査	—	—	—	—	●
内科診察	理学的所見(身体診察)	●	●	●	●	●
体力測定	心肺持久力、筋持久力、柔軟性、握力	—	—	—	●	●
栄養相談	栄養士による食事相談	—	—	—	●	●
保健相談	保健師による健康相談	—	—	—	●	●
結果説明	医師による結果説明、健康相談	●	●	●	●	●
料金(税込)		5,280円	6,380円	7,964円	21,780円	32,780円

お申し込み
お問い合わせ先

医療法人 溪仁会
溪仁会円山クリニック
〒064-0820 札幌市中央区大通西26丁目3-16
健診実施日：火曜日～土曜日(日曜日・月曜日休診)

TEL (011) 611-7766 FAX (011) 611-7539
E-mail clinic@kejinkai.or.jp
H P https://www.kejinkai.com/maruyama/



VEGETABLE OIL INK 環境に優しい植物油インキを使用しています。

サラネット

サラネット 2023 春号
発行者／医療法人 溪仁会 法入本部

「サラネット」への
ご意見やご要望、ご感想
などをお寄せください。

https://www.kejinkai.com
〒006-0811 札幌市手稲区前田1条12丁目2番30号 溪仁会ビル3F 医療法人 溪仁会「サラネット読者」係
TEL (011) 699-7500 FAX (011) 699-7501

溪仁会グループ

溪仁会グループの“いま”をお届けする、保健・医療・介護・福祉のフリーペーパー

サラネット

2023
春



特集

通い、宿泊、訪問の3サービスで在宅を支える 小規模多機能型居宅介護について

「ずーっと。」
人と社会を支える **溪仁会グループ**

特集

03 通い、宿泊、訪問の3サービスで在宅を支える

小規模多機能型居宅介護について

02 浜仁会グループ最高責任者 就任のご挨拶

浜仁会グループ最高責任者
最高DX責任者
医療法人浜仁会 理事長 成田 吉明

05 これがわたしの愛用品

きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜 施設長 三好 誠

06 暮らしのPOINT[住宅改修の専門職編]

「ご自宅で快適に暮らすためのパリアフリー術」
札幌浜仁会リハビリテーション病院 テクノイドセンター
課長代理 荒谷 大悟

07 見たい!知りたい!サラビット

「専門職だからこそできる地域活動」

08 キラビト

「一枚の画像から、患者さんのいまを読みとるスペシャリスト」
定山浜病院 医療技術部 放射線科 診療放射線技師 三上 凌司

09 わたしからのありがとう

円山ハーティケアセンター 円山浜仁会デイサービス
介護職員 斉藤 満美子

おすすめスポット

カームヒル西円山 介護課 ケアワーカー 井上 明美

10 SALAかんたん体操

「胸を開きましょう」
浜仁会円山クリニック 運動指導科
健康運動指導士 鈴木 雄人

11 医学ひとくち講座

「小児在宅医療について」
医療法人稲生生涯医療クリニックさっぽろ
院長 川村 健太郎

13 栄養士さんのひとSALA

「もち麦入りおにぎらず ～鶏肉の味噌焼きサンド～」
手稲浜仁会病院 管理栄養士 中川 文太

14 教えて!○○さん

『『特別養護老人ホーム』を見学する上で気をつけたいポイント』
菊水こまちの郷 経営管理部 経営管理課 兼 生活相談課
課長 生活相談員 吉澤 悠輔

15 浜仁会人

「浜仁会グループとしてのメリットを活かし、
訪問診療を通じて地域医療に貢献したい」
浜仁会真駒内在宅クリニック 院長 岡田 学

16 TopiKs

19 手稲浜仁会病院 提携医療機関のご紹介

医療法人秀友会 札幌秀友会病院 理事長 藤原 雄介 医師

20 浜仁会グループの社会的使命・事業理念

21 施設一覧

23 まるくりインフォメーション

「協会けんぽご加入の被保険者の方へ」
浜仁会円山クリニック

「ずーっと。」人と社会を支える

浜仁会グループ最高責任者 就任のご挨拶

浜仁会グループ最高責任者
最高DX(デジタルトランスフォーメーション)責任者
医療法人浜仁会 理事長

成田 吉明



田中繁道先生の後継として、2023年4月1日付で4代目の浜仁会グループ最高責任者を拝命致しました。この1年間、医療法人浜仁会の副理事長としてさまざまな勉強の時間をいただけてまいりましたが、ハード・ソフト両面にわたる組織の大きさ、対象とする患者さん・利用者さんの幅の広さ、事業に関連する行政・企業の方々との多面的な関わりに、私自身未だに全貌を理解しきれていないとはいえ、背負ったものの重さに身の引き締まる思いであります。

この巨大な組織の舵取りが一人ではできないことは言うまでもありません。現場に出向いて多くの皆さんと意見交換を密にして、VUCA※1の時代にあっても浜仁会グループが進むべき方向を指し示し続ける羅針盤の役割を担っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、医療法人浜仁会と社会福祉法人浜仁会、関連会社は経営形態こそ異なりますが、これまでも浜仁会グループとして一体的な運営がなされてきました。それにより「保健・医療・介護・福祉」のあらゆる領域において、まさに「オギャア」と産まれてからお看取りまで、スローガンである『「ずーっと。」人と社会を支える』を実践して患者さん・利用者さんに寄り添いながら発展してまいりました。世界に前例のない“超”少子高齢社会に突入したわが国において、人の生活を基盤とした「地域包括ケアシステム」を洗練したものに創り上げていく上で、まさに私たちは「保健・医療・介護・福祉」の複合事業体として、大多数の住民から選ばれる存在であら

ねばなりません。

この大きな事業体を運営するにあたり、私たちが2004年度より拠り所としている理念がCSR※2経営であります。私たち浜仁会グループは営利を目的とする組織ではありませんが、「公益性」と「持続性」を重視しつつ、質の高い「保健・医療・介護・福祉」事業を展開していくためには、健全な経営が根底になければなりません。2021年度からはSDGs※3の概念とも対比させながら、組織の内外に向けてCSR経営についての発信を続けてきました。VUCAの時代にあるからこそ、私たちはより一層CSR経営を推し進めてまいります。

ところで、社会のあらゆる場面でDX※4という言葉を目にするようになってきました。デジタル技術はすでに私たちの生活に様々な場面で深く浸透していますが、生産年齢人口が減少する中で、この技術を活用することにより少ない人数で従来の業務がこなせる、あるいは今までできなかったような仕事ができるようになるなど、わが国のあらゆる団体・企業がDXに取り組んでいます。その本気度、達成度がおのの組織の命運を分けていくと思われま。当面の間、私自身が、浜仁会グループの最高DX責任者を兼務してこの問題に取り組んでまいります。

これからも『「ずーっと。」人と社会を支える』のスローガンのもと、社会にとって価値ある存在であるために、私たち浜仁会グループは進化し続けます。皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。

※1 先行きが不透明で、将来の予測が困難な状況を表す造語 ※2 企業・組織の社会的責任 ※3 国連が定めた持続可能な開発目標 ※4 デジタル技術を用いて新しい価値を創造すること

サラネット
読者アンケートが、
WEBサイトからも回答
できるようになりました

たくさんのご意見・
ご感想をお待ちしています
ので、ぜひご回答を
お願いいたします

【サラネット】

「サラ」はイタリア語で『ホール』の意味。
皆さんと一緒に健康や福祉、医療について
語る集いのホールになればと考えます。

こちらからも
アンケートサイトへ
アクセスできます



通い、宿泊、訪問の 3サービスで 在宅を支える

小規模多機能型居宅介護について

誰もが地域で、その人らしく暮らしていけるためのケアをおこなうサービスとして2006年に制度化されたのが「小規模多機能型居宅介護」です。デイサービスを柱にショートステイ、訪問介護を組み合わせ、一人ひとりに合わせた柔軟な支援を手がけることが特徴です。



菊水こまちの郷
サテライト型小規模多機能ホーム るびなす
所長

さわ だ ひろ え
澤田 大恵



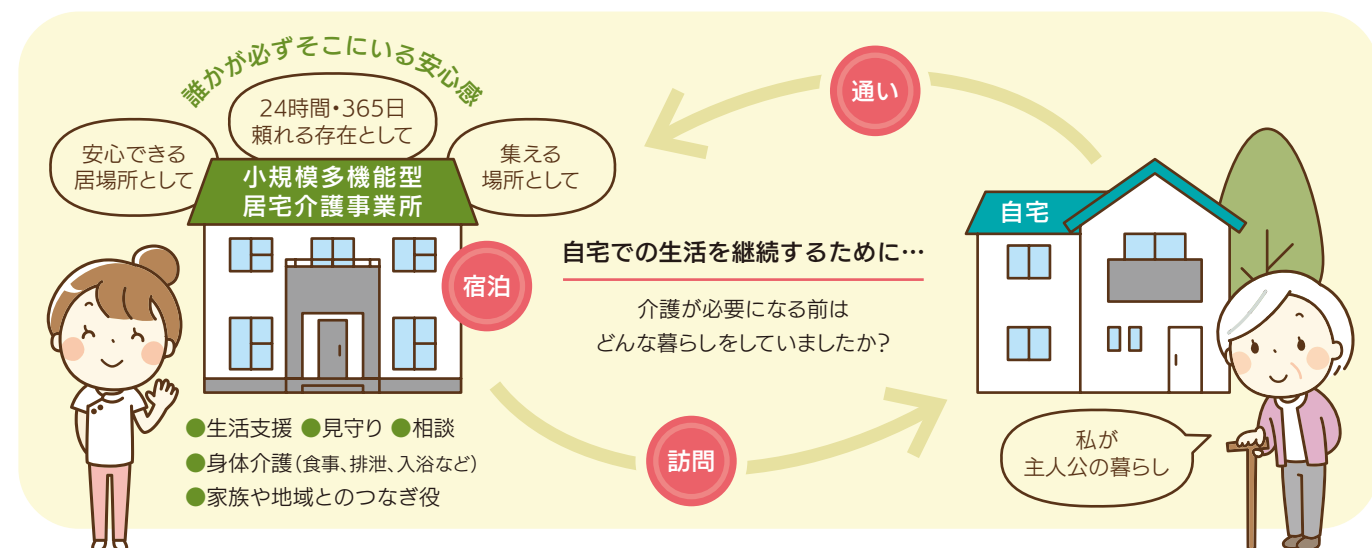
新しいケアモデルとして2006年に制度化 自宅で継続して暮らすための支援をおこなう

年齢を重ねても、介護が必要になっても、住み慣れた家、地域で家族や近所の人たちとともに、最期まで自分らしく人生を送りたい。そんなふうに考える方やご家族は少なくないでしょう。そうした願いに応えるため、2006年4月に制度化されたのが「小規模多機能型居宅介護」です。

高齢化社会の到来を見据えて2000年に介護保険制度が導入され、高齢者数が急増するなか、既存のサービスでは在宅での生活を支えられなくなってきたことや、そのなかで増加する認知症に対応した新しいケアモデルとして創設されました。

一人ひとりに合わせたサービスを 24時間365日、切れ目なく提供

このサービスを利用できるのは、要介護または要支援認定を受けた方です。その点では介護保険制度に基づく各種サービスと同様ですが、小規模多機能型居宅介護では「通い」、「宿泊」、「訪問」といったサービスについて、内容や運用が細かく定められておらず、一人ひとりの暮らしや思い



を汲みとり、柔軟に支援していくというのが特徴です。

事業所の規模によっても異なりますが、契約(登録)できる人数は最大29名までとなっています。文字通り小規模の環境のなか、顔馴染みになった職員たちが24時間365日、切れ目のない支援をおこなって自宅での生活を支えています。

サービスの費用は1カ月間の定額制 リハビリなど施設ごとの得意分野も

国の施策として、一定の生活圏域ごとに小規模多機能型居宅介護が行き渡るよう整備が進められており、近年は事業所開設が相次いでいます。溪仁会グループでは6事業所を運営しており、地域の方々を対象に在宅での生活を支援しています。

費用は1カ月単位の定額制となっており、所得などに応じて1～3割の負担となります。費用負担が明確であるという

ことも、このサービスを利用するうえでの大きなメリットといえるでしょう。食費、宿泊費などは利用者負担となりますが、1カ月の費用は、どの事業所を選んでもほぼ同じです。一方で、事業所ごとに入所施設に併設されていたり一軒家であったりと、施設環境が異なるほか、リハビリに力を入れるなど得意分野をもつ場合もあります。また、地域での暮らしを支えるため、地域の方々が参加する運営推進会議という場をともに設け、各事業所のサービスの内容をはじめとする情報の交換、共有などをおこないながら、暮らしやすい地域づくりを進めていることも特徴です。

利用を希望される方は、居宅介護支援事業所のケアマネジャー、地域包括支援センター、市町村の担当窓口、または、最寄りの事業所にまず相談してみてください。当グループの事業所では見学、体験利用もおこなっていますので、現地を見てから利用を決めるのも一考です。

**小規模多機能型居宅介護
菊水こまちの郷**

札幌市白石区菊水上町4条3丁目94-64
TEL:011-811-8110



特徴

- 入居施設が併設しており、慣れ親しんだ環境の中で特養への入居も視野に入れることができます
- サテライト施設(右欄参照)あり、利用者の状況に合わせての検討が可能です

**サテライト型
小規模多機能ホームるびなす**

札幌市白石区東札幌5条3丁目2-32-103
TEL:011-595-8461



特徴

- マンションの1室を使用し、自宅そのものの設備環境で、セカンドハウス・第二のお茶の間として生活にあわせたケアを提供します
- 庭の畑で利用者さんと一緒に季節の野菜を育てて、収穫を楽しんでいます

**小規模多機能型居宅介護
白石の郷**

札幌市白石区本郷通3丁目南1-16
TEL:011-864-3100



特徴

- 老健を併設しており、身体・言語・嚥下機能を評価した、リハビリメニューを作成できます
- 機械浴、リフト送迎車など要介護度の高い方の受け入れが可能です

**小規模多機能型居宅介護
あおば**

札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
TEL:011-893-5555



特徴

- 掃除、洗濯、買い物、薬の飲み忘れ、通院など、その方のニーズをいち早く発見し支援します
- 地域の特徴として独居世帯が60%以上を占めているため、地域の困りごとをサポートしています

**小規模多機能型居宅介護
つむぎ**

札幌市手稲区前田3条9丁目2-7
TEL:011-686-0300



特徴

- 吹き抜けが特徴の一軒家で、友人宅に遊びにきたような感覚で利用できます
- 施設の周辺には桜で有名な軽川があり、利用者さんと一緒に地域活動にも参加しています

**小規模多機能型居宅介護
西円山の丘**

札幌市中央区円山西町4丁目3-21
TEL:011-641-1081



特徴

- 施設が山に面しており、静かな環境でゆったりとした時間を穏やかに過ごすことができます
- 特養やグループホームなどの併設施設もあり、在宅生活が困難になった際も安心です

次のページへ

似ているようで違う小規模多機能型居宅介護のサービス

小規模多機能型居宅介護は、3つのサービスを組み合わせることで、一人ひとりにあった支援をおこないます。通所介護、短期入所生活介護、訪問介護は受ける方に必要なサービスを個別に提供するのが特徴です。

▼小規模多機能型居宅介護

「通い」

- 利用時間や曜日がオーダーメイド
- 必要な時間に必要な内容で利用できる
- 緊急時にも臨機応変に対応できる

「宿泊」

- 必要なときに利用できる
- 通い慣れた場所で宿泊が可能
- 顔なじみの職員や利用者さんとともに泊まれる
- 突然の泊まりにも対応

「訪問」

- その人が必要としているサービスを受けられる
- 緊急時にも柔軟に対応できる

▼個別のサービス

「デイサービス(通所介護)」

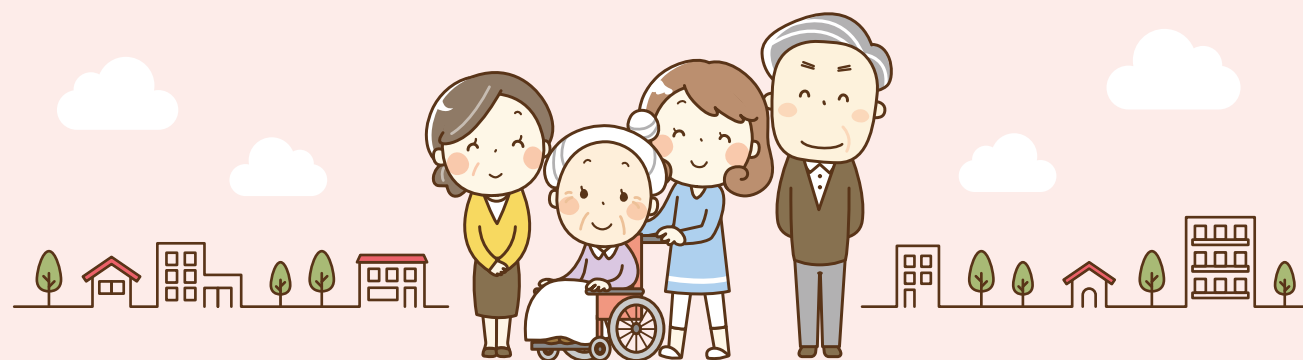
- 施設ごとに利用時間、プログラムがちがう
- 認知症対応型、リハビリ特化型、療養型などの種類がある

「ショートステイ(短期入所生活介護)」

- 事前に希望日に予約をしたうえで利用する

「ホームヘルプ(訪問介護)」

- サービスにあわせて支援内容、利用時間が決まっている



これがわたしの 愛用品

【グローブ】

ジャンルにとらわれず、
溪仁会職員のこだわりの品にクローズUP!

私は野球が好きで、息子と一緒に野球をしたかったのですが、息子は「サッカーがしたい」と思っていたはず。息子には3、4歳頃からおもちゃのバットを持たせ、小学校1年生の時には、私からキャッチボールに誘っても断られることが多くなったので、交換条件としてまずはサッカーで遊んでから野球をした思い出もあります。私に似て断れない性格なのかも知れません。そんな息子に無理強いし野球をすすめ、このグローブは息子が中学硬式野球から高校まで使っていたものです。今では私が喜茂別野球クラブで使用しています(補欠ですが)。グローブを持ちグラウンドに立つ時は、このグローブで甲子園を目指し頑張ったんだなと思いこふけています。野球部時代に何度も何度も教えられた「真摯な気持ち、感謝の気持ち」をいつも忘れないよう心がけています。



きもべつ喜らめきの郷
るすつ銀河の杜
施設長
みよし まこと
三好 誠



専門職が教える

くらしのPOINT [住宅改修の専門職編]

溪仁会グループで働く医療技術職や専門職のスタッフが、その豊富な経験と知識から、家庭で役立つ暮らしのポイントをお届けします。

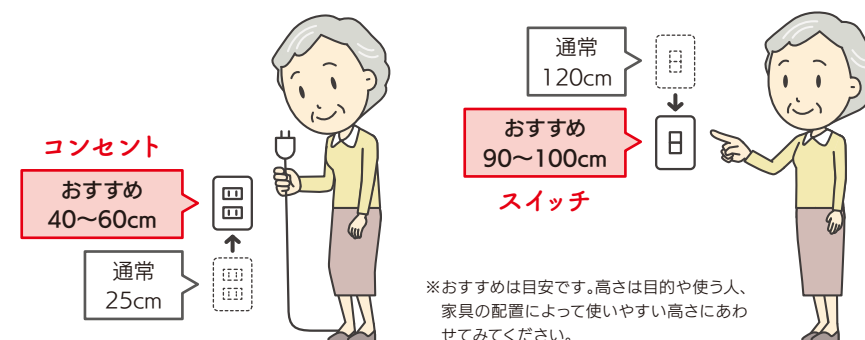


暮らしのPOINT ご自宅で快適に 暮らすための バリアフリー術

毎日暮らしているご自宅でも、年齢を重ねるにつれて危険な場所が増えていきます。65歳以上の高齢者の事故発生場所は、住宅内が約77%と圧倒的に多く、ご自宅の安全対策は健康を守るためにも、とても大切なことと言えるでしょう。今回は大きな工事を必要としない「ご自宅の安全対策」をご紹介します。

段差・高さの解消

家での事故の多くは、足がもつれたり、高所作業中に体のバランスがくずれることで起こりやすくなります。そのため、スロープなどで床の段差を解消したり、電気スイッチやコンセントの高さを調整し、無理な体勢をとる必要がないように工夫すると効果的です。



※おすすめは目安です。高さは目的や使う人、家具の配置によって使いやすい高さにあわせてみてください。

じゅうたんや階段のすべり止め

高齢になると「すり足歩行」になる方も多いため、足元も要注意です。じゅうたんはフチがめくれないように両面テープで固定したり、階段にすべり止めを設置するなど、なるべく足がすべりにくい環境を整えましょう。

そのほかにも、夜間に足元を照らすフットライトや、トイレでの動作を軽減するために上フタを取り外すなど、少しの工夫でもご自宅の安全対策は可能です。上記も参考にしながら、ご自宅で快適な生活をお送りください。

皆さんへメッセージ

ご自宅内での事故の傾向をみると、年齢や性別で特徴があります。男性は、活動的な前期高齢者が中心で、住宅内よりも庭先や屋根上など屋外作業中の事故が原因の多くを占めています。女性は75歳以上を中心に、電球の交換や押し入れなど高い場所での作業中の事故が多いとされています。それ以外にも、事故はどこでも起こる可能性がありますので、少しでも危険な場所があれば、早めの対策をおすすめします。



見たい！
知りたい！

サラビット

普段は見えないサービスの仕組み。
知っているようで、意外と知らない実際。
保健・医療・介護・福祉の“見たい”“知りたい”に
サラネットのマスコット「サラビット」が迫ります。

専門職だからこそできる地域活動

札幌西円山病院では、地域の皆さんに向けて「ひだまりカフェ」「にしまるリハビリ健診」「健康教室」などのさまざまな地域活動を実施しているんだ。今回は、3つの活動を中心に地域活動の役割やそのようすをわかりやすくレポートするよ。

札幌西円山病院

〒064-8557 札幌市中央区円山西町4丁目7-25
電話：011-642-4121（代表）

地域の抱える悩みや困りごとを、専門職の視点で行政や各種団体とともにサポートしている取り組みが、札幌西円山病院の地域活動なんだ。最近では現地に行くのがむずかしい方のために、要望にあわせて各活動をオンラインでも実施しているよ。

ひだまりカフェ

ひだまりカフェは札幌市中央区の認知症カフェと地域包括支援センター、区役所が年2回開催している認知症カフェだよ。カフェでは、認知症や介護に詳しい専門職が、音楽や体操を使った療法を教えてください。認知症の困りごと相談も受け付けているよ。認知症の方やそのご家族、認知症に関心のある地域住民など、だれでも参加者できるんだ。また、毎月第3火曜日にオンラインで「ひだまりカフェ in ZOOM」を開催しているんだよ。現地に来られない方も参加できて好評なんだって。

体操などをおこないながら、
認知症の悩み相談などを受け
付けているよ。



興味がある方は
病院まで連絡し
てみてね！



にしまるリハビリ健診

地域の町内会や介護施設などから依頼を受けて、バランス、筋力、^{えんげ}嚥下、栄養など要望に合わせた測定会や簡単におこなえる体操などを教えているよ。高齢になると家に閉じこもってしまうことも多いけど、こうした取り組みを外出のきっかけにしてもらって、地域からの孤立を防ぎたいという目的もあるんだ。



さまざまな専門職が、体の状態を測定してくれるよ。

介護予防センターでの健康教室

転倒や脳活性化、誤えん性肺炎、パーキンソン病など、高齢になるとリスクが高まる病気やフレイル*をテーマに、だれにでもわかりやすくその予防法を解説しているよ。あらかじめ、病気やフレイルの予防法を知っておくことは、健康な体の維持にもつながるよね。札幌西円山病院では、これからもいろいろな活動を実施していく予定だから、皆さんよろしくね。



健康を保つには、予防法を知っておくことが大切だよ。



※健康と要介護状態の中間点で、加齢や疾患によって機能が少しずつ衰え、心身が脆弱になった状態

キラビト

定山溪グループの現場でキラリと輝く職員、それが「キラビト」です。
職場を支える個性豊かなバイタリティを持つ「キラビト」たちをご紹介します。

定山溪病院
医療技術部 放射線科
診療放射線技師

み かみ りょう じ
三上 凌司



患者さんのいまを読みとるスペシャリスト。
一枚の画像から、

私は、診療放射線技師として定山溪病院に勤務して5年目になります。当病院は「医療療養病棟」「地域包括ケア病棟」「障害者病棟」「特殊疾患病棟」からなり、入院されている方の多くがリハビリテーションを必要とする患者さんです。

当病院の診療放射線技師は、X線検査やCT検査、エコー検査、X線透視によるVF（^{えんげ}嚥下造影）検査などをおこなっています。検査した撮影データは医師と共有し、診療に活かされていますが、私たち診療放射線技師も気づいたことがあれば画像にコメントを添えて、患者さんの体の変化を見逃さないように努めています。

病院の特性上、患者さんは体を思うように動かせない方がほとんどです。そのため、X線検査などの場合はポータブルの撮影装置で病棟をまわり、患者さんの状態や状況に合わせて、撮影をおこなっています。その際に心がけているのは、「もし自分が患者さんの立場だったらどうだろう」と考えてみることです。通常であれば平気な姿勢でも、その患者さんにとっては痛みを伴ってしまう場合もあります。少しでも楽に検査を受けてもらうために、かならず患者さんに

次の動作を確認しながら作業にあたっています。

この4月からは新たな技師が加わって、放射線科は3名体制になりました。私にとってははじめての後輩で、指導に慣れていない部分もありますが、診療放射線技師としての基本技術はもちろん、臨機応変な対応力が求められる現場での動き方や、患者さんとのコミュニケーションの方法なども伝えられたらと思っています。

私も新人のころには、上司からさまざまなことを学びました。自分より経験があるにもかかわらず、専門業務以外のことで貪欲に知識を深めようと努力している上司の姿は、いまの私の道しるべになっています。

これからも、定山溪病院でさまざまな経験を積み、技術や対応力を磨きながら、患者さんのために力を尽くせる診療放射線技師を目指したいと思います。

【診療放射線技師】

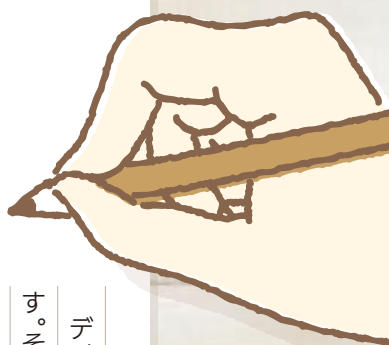
診療放射線技師は、病院やクリニックにおいて医師の指示のもと、放射線を用いた検査や画像診断、治療にたずさわる医療技術職。放射線技術の専門知識を生かし、目的に応じた撮影、三次元画像などの作成や読影の補助、診療説明を受ける方へわかりやすい画像を提供するなど、手術サポートおよび放射線治療などをおこなう。



円山ハーティケアセンター
円山深仁会デイサービス
介護職員
さいとう まみこ
斉藤 満美子

わたしからの

ありがとう



深仁会職員が、患者さん、利用者さん、仲間とのエピソードを綴ります

デイサービスに勤め始めたのは20年近く前のことです。それまで祖父母以外のお年寄りと接する機会もなく、介護の『か』の字も知らない私でしたが、入浴介助の人手が足りないからちよつと手伝って欲しいと、当時の所長に声をかけていただき「ちよつと手伝うくらいなら私でもできるかな」と軽い気持ちでお引き受けしました。最初のころは知識ゼロの上に天然な性格が相まって、信じられない失敗の数々を積み重ねたものです。自分のこともままならないのに、人様のお世話をするなんて無理ではないかと思いつつも、利用者さんと話しながら入浴介助をするのはとても楽しく、やりがいもあって辞められませんでした。

そのうち、「あんた、洗うの上手だね」とか「この前休みだったでしょ。寂しかったよ」「こめんね。話しかけやすいから、つい、あなたにばかり頼みごとしちゃうのよ」などと声をかけていただけるようになり、本当にありがたかったです。

利用者さんの癒しの効果は格別で、家にいるときより働いているときの方が身も心も元気になれるほどです。デイサービスを利用されている方は、皆さんそれぞれに何かしら問題を抱えていて、自分のことで一杯のはずなのに、温かい言葉で私たち職員を元気づけてくださって、尊敬しかありません。これからも、私にできることを精一杯して、利用者さんが生き生きと過ごせるようお手伝いしていきたいと思っています。

SALA

かんたん体操



深仁会円山クリニック
運動指導科
健康運動指導士
すずき ゆうと
鈴木 雄人
(本文・モデル)

胸を開きましょう

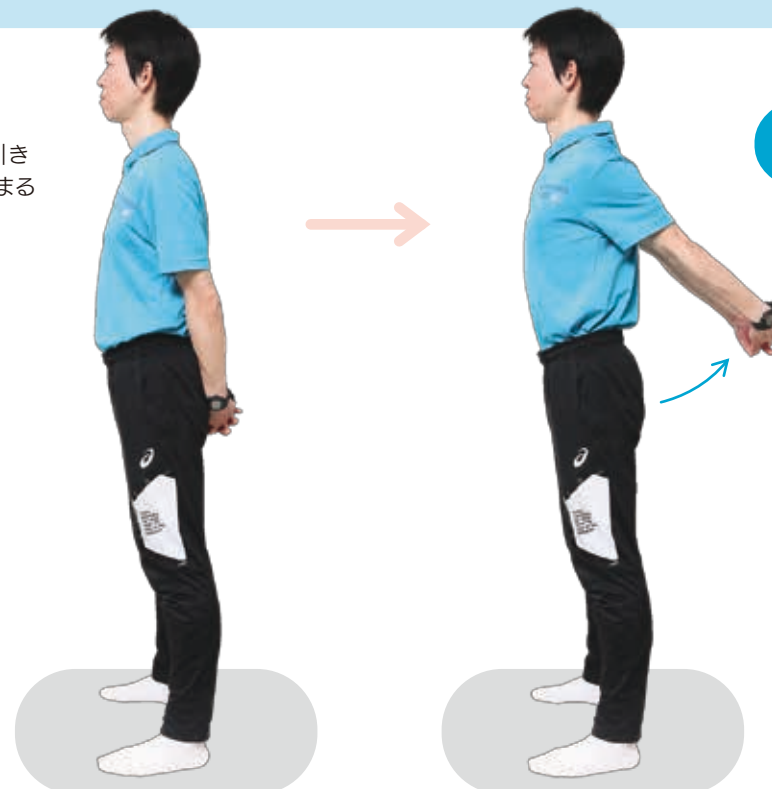
今回は胸を開く体操をご紹介します。

胸が縮こまると、猫背になって格好が悪だけでなく呼吸が浅くなりやすいです。

この体操で胸を開き、春の清々しい空気をたくさん体に取り込みましょう。

胸の体操

- ①身体の後ろで手を組む
- ②胸を張り、肩を後ろに引きながら肘を伸ばして止まる

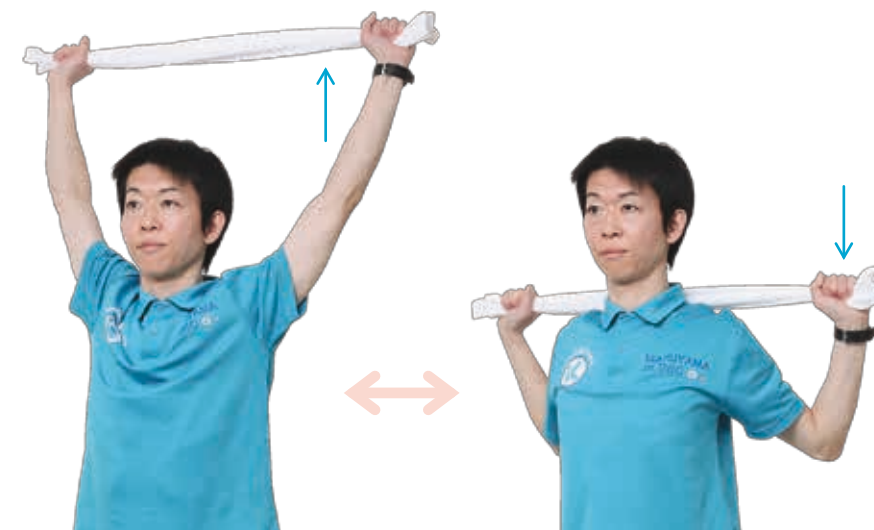


呼吸を続けて
30秒間キープ

肩甲骨の体操

10回×2セット

- ①タオルの両端を持って両うでを上げる
- ②タオルを外側に引っ張りながら肩甲骨を寄せてくるイメージで首の後ろに下ろす
- ③ゆっくり元の姿勢に戻る
※肩が痛い人は無理をしない



おすすめ スポット

四季折々の楽しみがある
お気に入りの場所です。



カームヒル西円山
介護課
ケアワーカー
いのう え あけみ
井上 明美



ハヤシ料理店

〒060-0063
札幌市中央区南3条西3丁目
プレイタウンふじビル3F

私のおすすめスポットは『ハヤシ料理店』というカウンターメインの和洋中創作料理のお店です。友人に「以前から行ってみたいお店がある」と誘われて伺いましたが、大好きなお店になりました。

おすすめメニューはしらすと赤キャベツのコールスロー、木の子とチーズのオムレツ、地獄豆腐です。オムレツはお店の方におすすめされた白ワインによく合いました。地獄豆腐はネーミングの印象より激辛ではなく、モツがプリプリだけれどあっさりしてやみつきになるスープです。メニューが豊富でどれもおいしそうなので次回は肉料理やパスタも食べてみたいです。

医学ひとくち講座

小児在宅医療について

在宅医療といえば、高齢者やステージの進行したがん患者さんなどへの訪問診療がイメージされますが、小児においても在宅医療・訪問診療がおこなわれており、支援体制が徐々に整いつつあります。2015年に小児等在宅医療連携拠点事業の拠点施設となるなど、小児在宅医療に取り組んできた医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろの川村健太郎 院長に、その現状と課題を聞きました。

小児在宅医療は、 高齢者などに対する在宅医療 とは異なるのでしょうか？

小児在宅医療は、「医療的ケア児」がその対象となります。医療的ケアとは、在宅でおこなう医療行為のことで、人工呼吸器、痰の吸引、経管栄養、導尿、インスリンの注射などがそれに該当します(図)。近年、こうした医療行為を必要とする医療的ケア児が増加しています。

医療的ケアが必要な人の状態を

確認したり、健康上の相談などをおこなうにあたって、小児だからといって成人よりもハードルが高いということはありません。しかし一方で、医療的ケア児に対応できる医療機関の数は多くなく、診療のノウハウをもっとも少ないのが現状です。また、高齢者には介護保険の制度がよく使われるのに対し、小児は医療保険をベースにしながら障害・福祉のサービスを使うといった制度的な違いがあります。また小児は学校との

やりとりも必要になるなど関係先が異なり、現状では経験がなければ対応に苦慮する面があることも小児在宅医療の特徴といえます。

医療的ケア児が増加している のはなぜでしょうか？

医学的な進歩がその背景の一つとなっています。日本の新生児医療・小児医療は世界的に見ても優秀で、以前は助からなかった重症の新生児や重い障がいをもって生まれた子

どもも長く生きられるようになりまし。その数は2005年から15年間で倍になり、全国で2万人を超えています。それに加えて、小型で自宅でも使える人工呼吸器が登場するなど医療機器が発達してきたことで、小児在宅医療のニーズも増えてきているのです。

小児在宅医療への支援は、 どのようにおこなわれて いますか？

小児在宅医療を支えるためには、医療機関に加えて、訪問看護ステーション、居宅介護事業所、通所事業所のほかに行政、学校・保育所などと連携したサービスの提供が欠かせません。

こうした関係者のネットワークづくりを進めるため、厚生労働省では小児等在宅医療連携拠点事業を全国のモデル地区で実施し、当法人も2015年に北海道における拠点施設となりました。そして、道内各地域の支援者の方々と、小児在宅医療を支えるための仕組みづくりや医療的なサポートをおこなっています。

医療的ケア児が増えている現状に対応するため、2021年には医療的ケア児支援法(医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律)が成立しました。同法は、医療的ケア児の健やかな成長、家族の離職の防止を図ることを目的として、医療的ケアが必要な子どもが問題なく保育・教育を受けられるように国、地方公共団体が必要な措置を講ずる責務などがうたわれました。

また、医療的ケア児支援センター

の設置についても定められています。これは、医療的ケア児および家族の相談に応じるほか、医療・保健・福祉・教育・労働等に関する業務をおこなう機関への、医療的ケアについての情報提供・連絡調整などを目的とした窓口です。北海道からの委託を受けて当法人がこれを立ち上げ、道内の各自治体、保育所・学校、福祉事業所、さらに当事者からの相談を受け、必要な対応をおこなっています。

小児在宅医療の課題と、 クリニックとしての 取り組みを教えてください

小児から成長して大人になると、生活習慣病、悪性腫瘍など新たな問題も起こり得ます。こうした、大人になっていく移行期の医療(トランジション)をどう担うかについては、課題が残っていると思います。また、成長する過程で人工呼吸器が必要になるケースの場合、たとえば大学生活を支えるためのサポート体制などがまだ、制度として確立されていません。

こうした現状に対しては、成人の在宅医療を担っている病院などと連携することも有効だと考えており、当クリニックとしてもネットワークづくりを進めているところです。当法人では在宅医療の「生涯医療クリニックさっぽろ」、「訪問看護ステーションくまさんの手」、「居宅介護事業所イリバ」、「短期入所事業所どんぐりの森」、相談支援をおこなう「相談室あんど」を運営し、包括的なサービス

の提供をおこなっていますが、地域として医療的ケア児に対応するためには、関係機関との幅広い協働が必要だと考えています。

法整備も後押しとなり、当クリニックの患者さんでも一般の小学校に入学することが決まるなど、状況は変わりつつあります。医療的ケアを必要とするかどうかにかかわらず、いいことも大変なことも含めて、誰もがさまざまな経験をし、一緒に学んでいける社会づくりに貢献できればと願っています。



医療法人稲生会
生涯医療クリニックさっぽろ
院長

かわ むら けん た ろう
川村 健太郎

プロフィール

- ・苫小牧市立病院 小児科
- ・市立室蘭総合病院 小児科
- ・製鉄記念室蘭病院 小児科
- ・浦河赤十字病院 小児科
- ・札幌医科大学附属病院 小児科 神経グループ
- ・生涯医療クリニックさっぽろ

- 認定小児科指導医
- てんかん学会専門医

【図】代表的な医療的ケア

「医療的ケア」とは医師や看護師の指導のもと、ご本人やご家族等が治療目的ではなく生活援助を目的としておこなう行為のことを指します。

経鼻経管 栄養

口から食べることが難しかったり、誤嚥による肺炎になりやすい場合に、鼻から、胃や腸まで通したチューブで流動食や水分を運ぶ方法です。



胃ろう

口からものを食べられなくなったり、誤嚥による肺炎を起こしやすい場合に、安全に食事をとる方法として、チューブで直接、胃に栄養を送るためにつくる穴のことです。



導尿

尿道にチューブを入れて排尿を手助けすることです。尿をうまく出せなくなった場合におこないます。



気管切開

呼吸ができなかったり、痰が出せないといった場合に、首の皮膚を切開し「気管カニューレ」という器具を挿入して気道を確保する方法です。



吸引 (サクション)

吸引カテーテルと呼ばれる器具を鼻、口、気管内に入れて、痰や鼻水、唾液などを取り除きます。

酸素療法

酸素が十分に取り込めない場合に、足りない酸素を補う方法です。自宅においては酸素濃縮器という機器が多く使われ、酸素ボンベを携帯すれば外出も可能です。



人工 呼吸器

自分で呼吸をすることが難しい場合に使用する装置です。24時間必要なケース、就寝時だけ使うケースなどがあります。



イラスト：池田蔵人

栄養士さんの ひとSALA

免疫力アップメニュー
もち麦入りおにぎらず
～鶏肉の味噌焼きサンド～

1人分の 栄養価

エネルギー …… 535kcal
たんぱく質 …… 24.5g
カルシウム …… 51mg
塩分 …… 2.2g

人の腸内には人間が持つ免疫機能の70%が備わっているとされ、腸内環境を整えることが免疫力アップにつながります。なかでも、腸内細菌と食物繊維を同時に摂取し腸内環境改善にアプローチする「シンバイオティクス」が注目されています。有用菌を多く含む味噌と、食物繊維の多いもち麦と一緒に摂取できる1品で、春の行楽シーズンをお楽しみください。



材料(2～3人分)

米 …… 1合	ごま油 …… 大さじ1	A	味噌 …… 大さじ2
もち麦 …… 50g	キャベツ …… 20g		酒 …… 大さじ1
水 …… 1合分+100ml(もち麦用)	にんじん …… 20g		砂糖 …… 大さじ1
焼き海苔 …… 2～3枚	塩 …… 適量		みりん …… 大さじ2
鶏もも肉 …… 1枚	サンチュ …… 2～3枚		おろし生姜 …… 小さじ1

POINT!

鶏肉は長時間漬けることでより一層味噌の風味が感じられるため、前日から漬け込んでおくのがおすすめです。もち麦と味噌という伝統的な和食の組み合わせに興味を持っていただき、今回の料理以外にも応用していただくと、日々の免疫力アップにつながると思います。

作り方

- 鶏もも肉の余分な脂や筋を取りのぞき、両面にフォークを使って全体的に穴を開ける。厚みのある部分は包丁で切り込みを入れて厚みを均等にする。
- ビニール袋に鶏もも肉とAを入れて揉み込み、袋の空気を抜いて冷蔵庫で1時間以上を目安に漬込む。
- 炊飯器に米と、1合分の水を入れる。もち麦と水100mlを入れ、全体をかきまぜて炊飯する。
- キャベツとにんじんをそれぞれ千切りにし、塩を振り、もみ込んでおく。
- ②の鶏もも肉を冷蔵庫から取り出す。フライパンにごま油を入れて温め、皮を下にして焼く。焼き目がついたら反対側も焼き、2～3等分に切り分ける。
- ラップに角を上にして焼き海苔を置き、中心に四角くご飯をのせ、キャベツとにんじんを半分ずつのせる。その上にサンチュを敷き、鶏もも肉を重ねご飯をのせる。
- 海苔の角を中央であわせるようにご飯を包み、ラップで包み形を整え、包丁で半分に切る。

Profile

手稲深仁会病院
管理栄養士

なか がわ ぶん た
中川 文太



酪農学園大学 農食環境学群
食と健康学類 管理栄養士コース 卒業
2020年より勤務
食事や栄養サポートの面から少しでも患者さんが元気で笑顔になれるよう関わってまいります。

教えて! //

吉澤 さん

菊水こまちの郷
経営管理部 経営管理課
兼 生活相談課 課長
生活相談員
よし ざわ ゆう すけ
吉澤 悠輔

専門のスタッフが制度や手続きなどについて解説します。

「特別養護老人ホーム」を 見学する上で気をつけたいポイント

生活相談員

介護や支援が必要と認定された高齢者や障がい者、そのご家族を対象として、介護老人福祉施設等において入所から生活まで援助・調整をおこないます。



初めて施設を見学される方に「どのような視点で選んだらいいですか?」と質問を受けることが多くあります。その方によって大切にしていることや、その中での優先順位はそれぞれですので「ここに気をつけて!!!」と一概には言えませんが、参考までに大切にいただきたいポイントを3つご案内したいと思います。

利用料金の 考え方

特別養護老人ホームの利用料金は「介護保険の自己負担金」「食費」「居住費」「医療費等」「その他費用」がかかります。年間収入(年金等)や預貯金などにより食費と居住費は変わりますが、1人部屋か、2～4人部屋の施設かで料金は大きく変わります。「絶対個室がいい!」など、その方によってご希望があるかと思います。それも非常に重要ですが、対象の方の収入・預貯金で支払いを完結できることも大切です。長く利用することを想定して、無理のない範囲でご検討いただくことをおすすめいたします。

施設の場所

立地を考えるとときのポイントは「ご本人の住み慣れた生活圏内」や、ご家族が通いやすいように「家族の家の近く」といいます。ここにもメリット・デメリットはあります。たとえば「ご本人の住み慣れた生活圏内」の場合、ご家族が急な呼び出しなどに対応できない場合があります。しかし、行政の手続きなどを考えれば施設から必要書類を受け取って、そのまま手続きをおこなえるのはメリットになります。入居後、ご家族はどのような対応が必要になるのか、見学の際にご確認いただくといいかと思います。

施設の雰囲気

『雰囲気』を重要視される方は非常に多いと思います。スタッフの対応や明るさ、施設の内観など人によって気になる点はさまざまです。言葉では伝えにくいですが、ここで感じた違和感は長く尾を引くことがあります。気になっているところがある場合「どこに」引っかかっているのか、少し考えてみるといいかもしれません。

その他に「終末期に対応できるのか?」「病院の付き添いはあるのか?」「医療的なケアに強いところがいい」など多くのご心配・ご希望があると思います。すべてを満たした施設を探すことはとても難しいため、ぜひご自身の中で優先順位を整理していただき、担当のケアマネジャーやソーシャルワーカーとご相談されることをおすすめいたします。





溪 仁 会 人



溪仁会真駒内在宅クリニック

院長

岡田 学

訪問診療を通じて地域医療に貢献したい。

2020年に内科医として定山溪病院に着任し、2022年10月に同病院が開院した「溪仁会真駒内在宅クリニック」の院長を拝命しました。

私が医師の道を選んだのは30歳を過ぎてからのことです。文系の大学へ進み、視野が広がるなかで社会的に意義のある仕事がしたいと考えるようになり、そこから医

学部に入り直しました。医師である父の姿に一つの理想を見たのがきっかけでした。

医学部を卒業後は、総合病院での勤務、海外での研修や国際援助活動など多様な現場を経験しました。そのなかで、内科医、なかでも総合診療を手がけたいと考えるようになり、事業継承により夕張市でクリニックを開業しました。クリ

ニックには、さまざまな状況の患者さんが訪れました。考え方、感じ方もそれぞれです。そうした患者さんへの対応を通して、一人ひとりと時間をかけて、じっくりと向き合いたいという思いが強くなりました。そして、訪問診療なら理想に近づけるのではないかと考え、その後、札幌市のクリニックに移って訪問診療を担当しました。

そこで実感したのは、訪問診療は決して特別なものではなく、外来も入院も訪問診療も、患者さんごとに必要な形態が異なるだけであり、選択肢の一つということですね。医師も、外来・病棟・訪問という異なるフィールドを行き来して、求められる診療を提供できるように意識、環境づくりが必要だと考えるようになりました。

医師にとって、フィールドを越え

ることにはハードルの高さを感じるのも確かです。そんな時、私が意識してきた言葉が二つあります。一つが学生時代に研修を受けた病院の先生の「人間だれでも持つて生まれたものがある」という言葉です。先天的な素質を大切にしないさいという意味合いです。もう一つは、一人前の医師になれるかどうか悩んでいた時に先生から聞いた「立場が人をつくっていく」という言葉で、これは後天的な努力の大切さを言っています。一見、矛盾していますが、いずれも真実であり、自分自身を見つめるきっかけとなりました。

訪問診療は、それだけで成り立つものではなく、高度医療機関との連携が求められるケースなどもあります。その点、溪仁会グループとして訪問診療がおこなえるのは、理想形と言えるかもしれません。グループ内の医療機関であれば、一旦、入院してまた在宅に戻るといったケースでも、患者さんに関する一定の情報を共有しながら対応できるようにするため利便性も高く、また確実な医療の提供につながると思います。

溪仁会真駒内在宅クリニックでは、訪問診療の体制をさらに充実させながらグループのメリットを活かし、地域医療に貢献していきたいと考えています。



診療科目／一般内科、訪問リハビリテーション科
住 所／札幌市南区真駒内本町5丁目1番8号 第5ナベビル2階
問い合わせ／TEL:011-590-5378
U R L／https://www.keijinkai.com/makomani-clinic/

クリニック概要

TopiKs

溪仁会グループの最新情報は
https://www.keijinkai.com



「まるやまカー助の会」が地域貢献活動として「教えてバスセクサー」を開催

溪仁会グループ内の札幌市円山西町に所在する病院と施設の集まり『西円山ハーティケアの丘※』では、2021年から有志の職員が集って地域活動をおこなう「まるやまカー助の会」を発足し活動を進めています。その取り組みの一環として1月27日(金)に、円山西町児童会館を利用する子どもたちを対象に「教えてバスセクサー」を開催しました。

今回はこれまでも同会館にて活動してきた西円山ハーティケアの丘のメンバーのみならず、グループ内の定山溪病院からもバスケットボール経験者が「セクサー」として加わりました。昨今のバスケットボールブームもあり、当日は多くの子どもたちが参加。数人が組んでのチーム戦で楽しみながら協力しあったり、シュートを決めようと懸命にゴールに向かったりする姿が見られ、同会館の布川館長からも「ぜひまた子どもたちのためにセクサーとして会館に来てほしい」というお言葉をいただきました。

また参加した職員からも「自分たちが逆に元気をもらうことができた」「子どもたちのひたむきな姿に心を打たれた」という感想があり、児童会館を利用する子どもたちとの交流を深められる機会となりました。

「まるやまカー助の会」では、今後も病院や施設が持つ社会資源を、さまざまな形で地域の方々に還元するための取り組みを続け、地域とともにあゆむ病院、施設づくり、その先のまちづくりを目指して活動をしていきます。

※札幌西円山病院・西円山敬樹園・カムヒル西円山・グループホーム西円山の丘・小規模多機能型居宅介護 西円山の丘の総称



札幌溪仁会リハビリテーション病院で「キャプテン育成研修」を開催

札幌溪仁会リハビリテーション病院では、多職種のスタッフがチームとなって治療をおこなうなか、患者さんやご家族、チームの中心となる役割を担うスタッフを「キャプテン」と呼んでいます。キャプテンには、専門職としての知識だけでなくさまざまな能力が要求されることから2022年度は「キャプテン育成研修」を開催し、3回の研修に17名の職員が参加しました。参加者からは「今回の研修で、患者さんやご家族とチームが円滑に一つの目標に向かうための幅広い知識を学べた。今後のキャプテンとしての業務に活かしていきたい」と感想があり、同病院では今後もチーム医療のレベル向上につながる取り組みを実施していきます。



医療法人溪仁会、社会福祉法人溪仁会が「健康経営優良法人」の認定を取得しました

医療法人溪仁会、社会福祉法人溪仁会では、3月8日(水)に「健康経営優良法人(大規模法人部門)」の認定を取得しました。健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制度です。両法人ともに2021年から3回連続の認定取得となりました。これからは職員の仕事と健康を守り、働きやすい職場環境作りを推進していくとともに、職員が病気に罹患した場合でも治療と就労の両立支援をおこなっていきます。





医療と介護の連携！みんなでケアを考える会で「フットケア」をテーマに研修会を開催 手稲家庭医療クリニック・手稲つむぎの杜

2月23日(木・祝)、「フットケア」をテーマにした手稲区通所サービス連絡会「みんなでケアを考える会」の研修会が、手稲区民センターで開催されました。「みんなでケアを考える会」では、札幌市手稲区で介護に従事する方が、介護サービスの質の向上などを目指して活動をおこなっています。今回は手稲家庭医療クリニックより、フットケア指導士の資格を持つ阿部香子 看護師が講師をつとめ、小林美香 看護師とともに研修がおこなわれました。

当日は18人が参加し、講義では足爪のケアや足の観察、保湿の仕方についての指導のほか、高齢の方が少しでも長く歩ける足を守り、足から全身を診ることの大切さなどが語られました。その後、グループワークでの意見交換や、参加者同士での足爪のケアも実践しました。

研修会の主催者メンバーである手稲つむぎの杜 在宅事業部の木村むつみ 課長は「フットケアをテーマに研修会を企画する際に、日頃から交流のある阿部さんの顔が浮かびました。いつも利用者さんの相談に乗っていただいていたので、今回の研修についても私たちの思いや、内容についての希望を理解していただき、とても充実した研修となりました。介護の現場でも医療的な知識を得ることで、エビデンスのあるケアに繋がります。今回の研修は今後に生かせるものでしたし、なによりも介護職が医療職と直接顔を合わせ、言葉を交わしながら交流できたことが、今後の連携につながっていくかと思うので、とても有意義な時間となりました」と研修会で得た学びの大きさを話しています。

また、講師を務めた阿部看護師は、「真剣に学ぶ熱意を感じながら楽しく進めることができ、研修に参加していただいた皆さんからの質問や意見など、介護現場の声が聞けてとても勉強になりました。今回のご縁を機に、いつでも気軽に相談に乗れるような関係性が築けていけたら嬉しいです。フットケアは、高齢者が自分の足で歩き続けることを支え、QOLを維持することができます。介護に関わる方々と一緒にフットケアを実践してくれる仲間が増えることを願っています」と話し、地域における医療と介護の連携を深める機会となりました。

札幌西円山病院に 「訪問リハビリテーション科」を新設

札幌西円山病院では、退院された患者さんや在宅で生活する方への訪問リハビリを実施しており、2023年1月より専任のスタッフがサービスを提供する「訪問リハビリテーション科」を新設しました。在宅で生活されている要介護者・要支援者に対して、理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士2名が対応しています。同科のスタッフは今後の抱負として「訪問を楽しみにしていただけるよう、在宅生活に寄り添い、真摯にリハビリテーションを提供し、今まで以上にスタッフ一丸となって精進していきます」と話しています。



爪やすりの使い方を説明



1月～2月のイベント紹介

溪仁会グループの各施設でおこなわれたイベントのようすをご紹介します。

お正月

定山溪病院

新年のお祝いとして、職員手作りの神社で絵馬やおみくじを楽しみました。また、お正月には獅子舞にかまれるとその1年が元気に過ごせると考えられており、1月11日(水)には獅子舞がお囃子とともに病院内を練り歩きました。



コミュニティホーム岩内

1月9日(月・祝)～19日(木)の間でユニットごとに新年会を開催しました。入居者さんに笑顔になってもらいたいと、職員が二人羽織や腹踊り、くじ引きなどいろいろな催しを企画し、楽しい年明けになりました。



節分

コミュニティホーム白石

2月2日(木)、3日(金)に豆まきを開催。思いっきり豆をなげる方、楽しそうに鬼と一緒に写真を撮る方など、皆さんで節分を楽しみました。



月寒あさがおの郷

時期は遅くなりましたが2月15日(水)に豆まきを開催しました。職員が扮した鬼に笑顔で豆をぶつけるなど、入居者さんに楽しんでいただけるイベントになりました。



手稲溪仁会病院 提携医療機関のご紹介

手稲溪仁会病院は地域医療支援病院として、近隣の医療機関と連携し診療をおこなっています。病状が安定されている方につきましては、近隣の病院・クリニックをご紹介しておりますので、お気軽にお申し出ください。

手稲溪仁会病院 患者サポートセンター

●011-685-2904(医療連携担当直通) ●011-685-2976(医療相談担当直通)

医療法人秀友会 札幌秀友会病院

病院の概要を教えてください

札幌秀友会病院は、脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科の専門病院として1988年に開院しました。以来、札幌市手稲区、西区をはじめ、石狩市・小樽市などの救急医療を担っています。現在は、より幅広い医療体制を提供するために、内科、糖尿病内科、循環器科、消化器外科、精神科、歯科などを診療科目に加え、「急性期医療から在宅療養まで」の理念のもと、地域医療に貢献しています。

病院の特徴を教えてください

私の専門分野が、脳卒中診療、カテーテル治療による急性期脳梗塞、頸動脈狭窄症、脳動脈瘤などの手術であるため、急性期医療においては、積極的に患者さんの受け入れをおこなっています。カテーテル治療では、最新の血管造影X線診断装置を導入し、術後の患者さんのダメージを最小限に抑えながら、緻密で安全な医療を実践しています。

また、同じ秀友会グループである、訪問リハビリテーション部門や介護施設などとも連携し、患者さんが住み慣れた地域・住み慣れた住居で健康に暮らしていくことを最優先に考えた医療体制を構築していることも特色のひとつです。

地域連携について教えてください

手稲区はほかの地域に比べても、病院間の連携が密におこなわれている地域だと思っています。総合病院や中規模病院、クリニックのそれぞれがお互いの特徴を理解し、自院で対応できない場合はすぐに患者さんを紹介できる体制があるのは、地域にとって大変意義のあることです。先人たちが作り上げてきたすばらしい環境を維持し、発展させるために、これからも積極的なコミュニケーションを図り、次の世代へとつなげていきたいと考えています。

地域の方々へ、メッセージをお願いします

病院は、命を救うだけでなく、人生を救う場所でもあると思っています。たとえば、入院当時は寝たきりだった患者さんが、手術やリハビリテーションを続けた結果、動ける身体になってご本人もそのご家族も笑顔で退院されていく。そうした光景を見るたびに、医師としての喜びを強く感じています。これからも、患者さんや地域の皆さんの健康な暮らしを守るために、私たち札幌秀友会病院は医療を提供していきます。



理事長 藤原 雄介 医師

筑波大学医学部卒業

筑波メディカルセンター病院、日立総合病院、筑波大学附属病院、水戸医療センターを経て、2017年から医療法人秀友会札幌秀友会病院。2021年に同病院理事長に就任し、現在に至る。

血管造影X線診断装置



最新の被ばく低減機構を搭載した血管造影X線診断装置を導入することにより、脳血管や冠動脈などのカテーテル治療をより安全におこないます。

歯科部門



院内には歯科を併設。リハビリテーション中の患者さんにも対応するため、診察室はバリアフリー設計。入院、外来問わず、口腔ケアをおこなっています。

AI問診



患者さんのスムーズな受診を促すためにweb問診システムを導入。院内受付にも設置しており、タッチパネル式で、どなたでも簡単に操作できます。

溪仁会グループの社会的使命



「ずーっと。」
人と社会を支える

私たち溪仁会グループは、

社会的責任(CSR)経営を推進します。

高い志と卓越した保健・医療・介護・福祉サービスにより、

「一人ひとりの生涯にわたる安心」と

「地域社会の継続的な安心」を支えます。

溪仁会グループの事業理念

- 信頼の確立
- 安心感と満足の提供
- プロフェッショナル・マインドの追求
- 変革の精神



診療案内／脳神経外科、脳神経内科、循環器科、心臓血管外科、内科、リハビリテーション科、精神科、消化器外科・肛門外科、歯科・小児歯科・歯科口腔外科、糖尿病内科

診療時間／[月～土] 9:00～12:00(受付は11:30まで)
[月] 13:00～19:00(受付は18:30まで)
[火～金] 13:00～17:00(受付は16:30まで)

休診日／日曜、祝日

住所／札幌市手稲区新発寒5条6丁目2-1

T E L／011-685-3333

H P／<https://www.shuyukai.or.jp>



治療とケア

最新の医療技術と機器を備え総合医療を提供しています。救急指定医療機関として、365日あらゆる疾患・外傷の患者さんを受け入れています。

(高度)急性期・専門医療 手稲溪仁会病院
札幌市手稲区前田1条12丁目1-40
☎ 011-681-8111

手稲家庭医療クリニック
札幌市手稲区前田2条10丁目1-10
☎ 011-685-3920

リハビリと療養

看護・介護・リハビリテーションを中心とした医療サービスを提供しています。

回復期医療 札幌溪仁会リハビリテーション病院
札幌市中央区北10条西17丁目36-13
☎ 011-640-7012

回復期・慢性期医療 札幌西円山病院
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
☎ 011-642-4121

地域包括・慢性期医療 定山溪病院
札幌市南区定山溪温泉西3丁目71
☎ 011-598-3323

保健

健康のチェックと病気の早期発見、健康管理、予防に関するサービスを提供しています。

人間ドック・健康診断施設 溪仁会円山クリニック
札幌市中央区大通西26丁目3-16
☎ 011-611-7766

介護

介護医療院

住まいと生活を医療が支える居宅系施設です。

札幌西円山病院 介護医療院
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
☎ 011-642-4121

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

原則65歳以上の方を対象に介護サービス計画に基づき、食事・入浴・排せつなどの日常生活の介護や機能訓練、健康管理が受けられます。

西円山敬樹園
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-631-1021

月寒あさがおの郷
札幌市豊平区月寒西1条11丁目2-35
☎ 011-858-3333

岩内ふれ愛の郷
岩内郡岩内町字野東69-4
☎ 0135-62-3131

きもべつ喜らめきの郷
虻田郡喜茂別町字伏見272-1
☎ 0136-33-2711

手稲つむぎの杜
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-3726

地域密着型介護老人福祉施設

菊水こまちの郷
札幌市白石区菊水上町4条3丁目94-64
☎ 011-811-8110

るすつ銀河の杜
虻田郡留寿都村字留寿都186-95
☎ 0136-46-2811

社会復帰生活支援

介護老人保健施設

病状の安定期にあり、入院治療をする必要のない方に医療・保健・福祉の幅広いサービスを提供する、介護保険適用の施設です。

コミュニティホーム白石
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-5321

コミュニティホーム八雲
二海郡八雲町栄町13-1
☎ 0137-65-2000

コミュニティホーム美唄
美唄市東5条南7丁目5-1
☎ 0126-66-2001

コミュニティホーム岩内
岩内郡岩内町字野東69-26
☎ 0135-62-3800

経費老人ホーム(ケアハウス)

食事の提供、入浴の準備、緊急時の対応、健康管理及び相談助言を基本サービスとして自立の維持ができる施設です。

カームヒル西円山
札幌市中央区円山西町4丁目3-21
☎ 011-640-5500

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

認知症の方が、小規模な生活の場において食事の支度・掃除・洗濯などを共同で行い、家庭的な雰囲気の中で穏やかな生活を過ごせるよう支えます。

グループホーム白石の郷
札幌市白石区本郷通3丁目南1-16
☎ 011-864-5861

グループホーム西円山の丘
札幌市中央区円山西町4丁目3-21
☎ 011-640-2200

短期入所生活介護(ショートステイ)

事情により介護ができないときに短期間入所していただき、ご家族に代わって食事・入浴等日常生活のお世話をいたします。

西円山敬樹園ショートステイセンター
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-631-1021

月寒あさがおの郷ショートステイセンター
札幌市豊平区月寒西1条11丁目2-35
☎ 011-858-3333

岩内ふれ愛の郷ショートステイセンター
岩内郡岩内町字野東69-4
☎ 0135-62-3131

ショートステイセンターつむぎ
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-3726

コミュニティホーム白石ショートステイセンター
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-5321

介護予防在宅支援

地域包括支援センター

高齢者の誰もが、住み慣れた地域でその人らしい尊厳ある生活を継続できるよう支援しています。

札幌市白石区第1地域包括支援センター
札幌市白石区本通4丁目北6-1 五光ビル3F
☎ 011-864-4614

岩内町地域包括支援センター
岩内郡岩内町字野東69-26
☎ 0135-61-4567

札幌市白石区第3地域包括支援センター
札幌市白石区本通17丁目南5-12 清友ビル1F
☎ 011-860-1611

介護予防センター

高齢になっても、住み慣れた地域で、その人らしい自立した生活が継続できるように介護予防事業を行っています。

札幌市中央区介護予防センター円山
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-633-6056

札幌市中央区介護予防センター曙・幌西
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-633-6055

札幌市白石区介護予防センター白石中央
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-5535

札幌市南区介護予防センター定山溪
札幌市南区定山溪温泉西3丁目71
☎ 011-598-3311

札幌市手稲区介護予防センターまえだ
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-3141

生活支援通所介護

通所介護(デイサービス)

要支援1・2、要介護1～5と認定された40歳以上の方を対象に、食事や入浴、機能訓練や趣味活動などのサービスを提供します。

あおばデイサービスセンター
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-5000

円山溪仁会デイサービス
札幌市中央区北1条西19丁目1-2
☎ 011-632-5500

手稲溪仁会デイサービスつむぎ
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-2568

デイサービスセンターすまいる
美唄市東4条南5丁目1-4
☎ 0126-66-2525

月寒あさがおの郷デイサービスセンター
札幌市豊平区月寒西1条11丁目2-35
☎ 011-858-3333

るすつ銀河の杜デイサービスセンター
虻田郡留寿都村留寿都186-18
☎ 0136-46-2811

小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護菊水こまちの郷
札幌市白石区菊水上町4条3丁目94-64
☎ 011-811-8110

小規模多機能型居宅介護あおば
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-5555

手稲溪仁会デイサービス織彩
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-3328

サテライト型小規模多機能ホームるびなす
札幌市白石区東札幌5条3丁目2-32-103
☎ 011-595-8461

小規模多機能型居宅介護つむぎ
札幌市手稲区前田3条9丁目2-7
☎ 011-686-0300

小規模多機能型居宅介護 白石の郷
札幌市白石区本郷通3丁目南1-16
☎ 011-864-3100

小規模多機能型居宅介護 西円山の丘
札幌市中央区円山西町4丁目3-21
☎ 011-641-1081

指定居宅介護支援事業所

介護支援専門員(ケアマネジャー)が介護保険サービス利用の申請手続きや、ケアプランの作成など介護保険に関するさまざまな相談に応じています。

溪仁会在宅ケアセンターつむぎ
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-2322

札幌西円山病院在宅ケアセンター
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
☎ 011-642-5000

定山溪病院在宅ケアセンター
札幌市南区定山溪温泉西3丁目71
☎ 011-598-5500

居宅介護支援事業所コミュニティホーム白石
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-2252

指定居宅介護支援事業所あおば
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-8761

居宅介護支援事業所すまいる
美唄市東4条南5丁目1-4
☎ 0126-66-2525

居宅介護支援事業所やくも
二海郡八雲町栄町13-1
☎ 0137-65-2121

ケアプランセンターさつき
岩内郡岩内町字野東69-26
☎ 0135-67-7801

ケアプランセンターこころ まるやま
札幌市中央区北1条西19丁目1-2
☎ 011-640-6622

札幌市障がい者相談支援事業所・札幌市障がい者住宅入居等支援事業所

障がいがあっても、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、さまざまな相談に応じています。

相談室こころ ていね
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-2861

相談室あんど
札幌市手稲区前田4条14丁目3-10
☎ 011-676-3612

在宅支援生活支援

訪問診療

通院が困難な患者さんのご自宅等へ医師が訪問し、医療サービスを提供しています。

溪仁会真駒内在宅クリニック
札幌市南区真駒内本町5丁目1-8 第5ナベビル2F
☎ 011-590-5378

訪問看護ステーション

看護師がご自宅に訪問し、主治医の指示に基づき、医療処置・医療機器を必要とされる方の看護を行っています。

はまなす訪問看護ステーション
札幌市手稲区前田2条10丁目1-10
☎ 011-684-0118

訪問看護ステーションあおば
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-5500

訪問看護ステーション岩内
岩内郡岩内町字野東69-26
☎ 0135-62-5030

訪問看護ステーションそうえん
札幌市中央区北10条西17丁目1-4
☎ 011-688-6125

訪問介護(ホームヘルパーステーション)

ご家族で介護を必要とされる方が、快適な生活を過ごせるようご家庭に訪問し、日常生活をサポートします。

西円山敬樹園ホームヘルパーステーション
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-644-6110

コミュニティホーム白石ホームヘルパーステーション
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-2008

ホームヘルパーステーションすまいる
美唄市東4条南5丁目1-4
☎ 0126-66-2525

コミュニティホーム八雲ホームヘルパーステーション
二海郡八雲町栄町13-1
☎ 0137-65-2122

ケアセンターこころ ようてい
虻田郡喜茂別町字伏見272-1
☎ 0136-33-2112

ソーシャルヘルパーサービス
札幌市中央区北8条西18丁目1-7
☎ 011-633-1771

児童発達支援

通所(児童デイサービス)

0歳児から高校生までの、児童発達支援・放課後等デイサービス・居宅訪問型児童発達支援サービスを行います。

児童デイサービスぱぷりか
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-5006

地域医療支援

公立診療所の指定管理者として地域の医療を支えます。

泊村立茅沼診療所
古宇郡泊村大字茅沼村711-3
☎ 0135-75-3651

医療的ケア児等支援

医療法人福祉会

身体障がいを抱えた方の在宅療養を包括的に支援します。

生涯医療クリニックさっぽろ
☎ 011-685-2799

訪問看護ステーションくまさんの手
☎ 011-685-2791

居宅介護事業所Yiriba
☎ 011-685-2799

短期入所事業所どんぐりの森
☎ 011-685-2799

北海道医療的ケア児等支援センター
☎ 050-5443-6064

医療法人溪仁会 法人本部

札幌市手稲区前田1条12丁目2-30 溪仁会ビル3F
☎ 011-699-7500(代表)

社会福祉法人溪仁会 法人本部

札幌市中央区北3条西28丁目2-1 サンビル5F
☎ 011-640-6767(代表)